



学校だより 石井っ子

教育目標 「深く考える子 思いやりのある子 たくまい子 やりぬく子」

登校時、心地よい風の中、子供たちの心のこもった「おはようございます」という挨拶が響き渡ります。昇降口前で子供たちを出迎えながら、すがすがしい気持ちで毎日が始まります。4月6日の第1学期始業式で、次のような話をしました。

「挨拶では、どんな気持ちを伝えたいかな？」 「どうすると気持ちが伝わるかな？」

この問いかけに、子供たちは真剣に考えてくれました。

「〇〇先生、おはようございます」と名前をつけて挨拶する子、挨拶とともに会釈をする子と、いろいろな挨拶がみられます。今はコロナ禍なので、大きな声を出さないようにしていますが、子供たちの真心がしっかりと伝わってきます。マスクなしで元気に挨拶ができる日が1日も早く来てほしいものです。

◇県内でも新型コロナウイルスの感染が拡大しています

昨日「新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について」を配付しました。次のご協力をお願いします。

- ①県内の感染状況がステージⅢとなり「同居家族が発熱の際、児童の出席停止の対応」
 - ②児童及び同居家族に濃厚接触やPCR検査となった場合、学校への連絡をお願いします。
- ※学校では万が一に備え、休日でも消毒作業を行います。速やかな情報提供がたいへん助かります。

◇新型コロナウイルス「3つのおそろしさ」について

新型コロナ感染症では、「病気自体のこわさ」とともに、「コロナになったらという心配」「病気の人への誹謗中傷・差別」という心の問題があげられます。このことを子供たちに話しながら、①「コロナにならないように気をつけること」 ②「差別や悪口をなくすにはどうすればよいか」を全校生で考えました。

2年生の意見

【コロナを予防する】

ていねいに手をあらう。
うがいをちゃんとする。
大ごえでしゃべらない。
マスクをしよう。
人ごみにいかない。
ごはんをもりもりたべよう。
はやねはやおきをしよう。
しょうどくをする。
人とはなれる。
へやのかんきをする。

コロナウイルスの3つのおそろしさ

びょうき 病気のこわさ	びょうき しんぱい 病気への心配	おそろしい差別
ねつ・くるしさ いのち 命をなくすことも	コロナになった らどうしよう	びょうき 病気の人への いじめ 悪口

差別をするのも わたしたち
差別をなくすのも わたしたち

【差別や悪口をなくす】

思いやり、しんぱいする。
いやがることをいわない。
～のせいとかいわない。じぶんがいわれたらかなしい。
さべつをいわない。人の気持ちをかんがえる。
こういったらきずつくとおもいながら、なくしていく。
さべつやわるぐちをぜったいにいつてはならない。
自分だっていわれたくないからいわない。

各学年で、コロナに関する道徳の教材を持ち帰ります。ご家庭で話し合い、できましたら保護者の皆さまのご感想もいただけるとありがたいです。授業の資料や校内掲示として活用させていただきます。